

PRESS RELEASE

2016年6月27日

株式会社 再生医療推進機構

第一三共と中枢神経領域でオプション権許諾契約を締結

株式会社再生医療推進機構は、歯髄細胞を用いた再生医療製品開発に向け、第一三共株式会社とオプション権許諾契約を2016年6月24日付で締結しました。

ヒトの乳歯や親知らずといった、従来は廃棄されていた脱落乳歯や抜去歯から容易に採取可能な歯髄細胞は、再生医療に利用できる幹細胞として有望視されています。

今般、当社が他家移植を主な目的として収集・備蓄した「歯髄細胞ストック」を原料とした再生医療製品開発に向け、中枢神経領域のうち一部の疾患を対象とする独占的オプション権許諾契約に基づき、細胞評価等の共同研究を開始します。

当社は、本契約を通して、再生医療製品の原料となる適切に品質管理された他家移植向け歯髄細胞を研究機関ならびに製薬企業等に安定供給できる事業基盤の強化を図り、再生医療の実用化促進に貢献してまいります。

【語句説明】

中枢神経領域

脳卒中やパーキンソン病、脊髄損傷などの脳と脊髄からなる神経疾患領域

歯髄細胞

乳歯や親知らずなどの永久歯から容易に採取できる神経由来の幹細胞を含む細胞です。歯牙という硬組織に保護されているため紫外線などの外部刺激を受けにくく、増殖力が極めて高いことに加え、収集・採取が容易であるため備蓄し易い細胞です。

他家移植

再生医療（細胞治療）において、他人の細胞を移植することを他家移植と言います。一方、自分の細胞を利用する場合は自家移植と言います。

会社概要

株式会社 再生医療推進機構	会社名	第一三共 株式会社
東京都中央区銀座 1-24-3	本 社	東京都中央区日本橋本町 3-5-1
山梨県笛吹市（特定細胞加工施設：厚労省認可 FA3150010）	研究所	東京都品川区、東京都江戸川区
2008 年 10 月	設立日	2005 年 9 月
3 億 5,938 万円（準備金含む）	資本金	500 億円
大友 宏一	代表者	中山 讓治
歯髄細胞保管事業、再生医療関連技術開発等	事業内容	医療用医薬品の研究開発・製造・販売等
http://www.acte-group.com/	ホームページ	http://www.daiichisankyo.co.jp/

【再生医療推進機構の事業概要】

全国約 1,500 施設の歯科医療施設と連携し、国内初となる歯髄細胞保管事業を運営する一方で、九州大学や岐阜大学などの研究機関や製薬企業との共同開発により、備蓄した細胞を用いた再生医療関連技術の開発に取り組んでいます。

<お問い合わせ先>

株式会社 再生医療推進機構

東京都中央区銀座 1-24-3 TEL：03-6228-7830 FAX：03-6228-7831

担当：取締役管理本部長 紅林伸也